

- ① 小寺病院長就任ご挨拶  
患者さんへの貢献を第一に診療・研究のさらに高い次元へ。  
・教えて！この言葉「TAVI (タビ)」  
・診療科レポート「総合診療科」
- ② 理学療法士のご紹介  
・新任のご挨拶  
・退職のご挨拶  
・ナディック通信
- ③ カラダと毎日のごはん  
・ミニニュース  
・病院からのお知らせ

- ④ 藤井看護部長就任ご挨拶  
高度先端医療に応える専門性と愛(やさ)しく、温かな心の両面から  
・マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知における医療ボランティア活動について  
・健康講座「あなたの乳がん治療、チームで支えます」  
・ボランティアさん募集  
・かわらばん HPのご案内

名古屋大学医学部附属病院

理念 ● 診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。

基本方針 ● 1. 安全かつ最高水準の医療を提供します。 2. 優れた医療人を養成します。 3. 次代を担う新しい医療を開拓します。 4. 地域と社会に貢献します。

〒466-8560 名古屋市長和区鶴舞町65番地 TEL 052-741-2111 (代表)

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

ホームページで「かわらばん」のバックナンバーをご覧いただけます

# TOPICS ① 小寺病院長就任ご挨拶 患者さんへの貢献を第一に 診療・研究のさらに高い次元へ。



2019年4月、小寺泰弘教授が新たに病院長に就任しました。就任のご挨拶として、現在の名大病院の取り組みや今後のビジョンなどを伺いました。



**病院全体での研究力向上を目指す**  
また、当院は、臨床研究中核病院として日本発の新たな医療開発を主導する役割も担っています。既に先

**安全・安心な医療の提供のために**  
4月より石黒直樹前病院長の後任として、名古屋大学医学部附属病院長を拝命しました。患者さん、地域の皆さまには、いつも当院の運営にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。皆さまには、この場を借りてご挨拶いたします。  
当院が医療機関として最も重視している取り組み、それは当然のことながら医療安全の向上です。先日、国立大学病院では初めて国際的な医療施設評価認証機関であるJCI (Joint Commission International) の認証を取得しましたが、これは患者安全の厳格な審査基準を満たすことが国際的にも認められたものです。今後も医療の質と安全管理の向上、事故の再発防止に取り組み、患者さんに安心して医療を受けていただけるよう日常的に改善を重ねていきます。

**東海地域の力を集めて未来へ**  
今後の大きな展開としては、名古屋大学と岐阜大学による「東海国立大学機構」の創設が挙げられます。両大学が一つの国立大学法人を設置し、そのもとで協力しながら互いの強みを最大限に発揮しようという試みの中で、当院は岐阜大学医学部附属病院との間でカルテ情報の共有に向けた準備を進めています。質の高い診療情報を広く収集・分析できれば、地域医療の未来において貴重なデータになると考えています。

行する診療科もありますが、病院全体で高いレベルの臨床研究を進めるには、幅広い診療科で研究を牽引するコア人材を育成しなければなりません。そのために必要な支援体制を整え、当院の研究力をさらに高めていきたいと考えています。  
現在進めているスマートホスピタル構想では、より良い医療を効率的に提供しようと医療機器のIoT化などを推進しています。日頃から質の高い診療を行い、多様な情報を網羅したデータを蓄積できれば臨床研究への活用も考えられ、いざ患者さんや社会へ還元できるものと期待しています。

最後に、各診療科の医師や看護師などの職員がやりがいをもって働ける環境をつくることも、病院長の責務です。優秀な人材がそれぞれの目標に全力で取り組んだ結果は、必ずや患者さんや地域の皆さまへより良い形でフィードバックされると確信しています。今後さらなる努力を重ねてまいりますので、皆さまには一層のご指導、ご鞭撻をいただければ幸いです。

教えて！

## この言葉

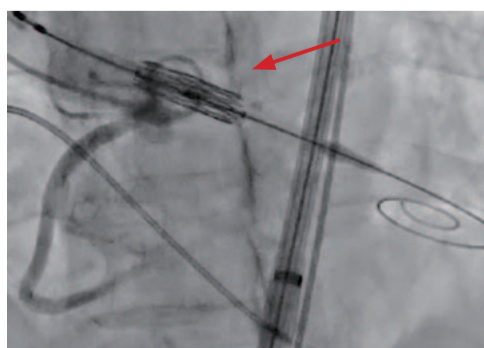
### TAVI (タビ)

心臓外科長 碓氷 章彦

TAVI (タビ) とは経カテーテル的大動脈弁移植術のことで、transcatheter aortic valve implantation という英語の頭文字です。心臓の出口にあたる大動脈弁が狭くなる弁膜症 (大動脈弁狭窄症) に対するカテーテルを用いた治療方法のことです。

以前は、大動脈弁狭窄症の治療は、胸を開いて、人工心臓を用い、心臓を止めた後に人工弁を縫い付ける、(外科的) 大動脈弁置換術が唯一の方法でした。患者さんは80歳以上の方が多く、そのような開胸手術による体力低下が懸念される場合もありました。TAVI (タビ) は、近年登場したその代替りの手術方法です。大腿動脈 (ふとももの付け根の動脈) などから、特殊なカテーテルで人工弁を心臓まで運び、正確な位置に留置します。人工弁は留置直後から患者さん自身の弁の代わりに機能します。心臓を止めることもない上、切開範囲は小さいので体

力低下の程度は小さいですが、特有の併発症も起こりえます。ご高齢のため体力が低下している、あるいはその他の病気を持たれているなどの開胸手術のリスクのある患者さんには、良い治療選択肢と言われています。



矢印の先が留置中の人工弁です

## 診療科レポート「総合診療科」

総合診療科長 佐藤 寿一

2018年度に始まった新専門医制度では、「総合診療専門医」が基本領域の専門医の一つとして位置づけられました。それは「患者さんを総合的に診る」という能力が、一つの専門能力として認知されたことを意味しています。

大学病院や都市の大規模病院で働く総合診療医は病院総合医と呼ばれ、受診すべき専門診療科が特定できない患者さん、すなわち病態の原因が不明瞭な患者さんや複数の病態が複雑に絡み合っている患者さんのケアを担当します。  
名大病院総合診療科は、地域の診療所や市中の病院から診断や治療に難渋している患者さんを紹介していただいております。さわめてまれな疾患や非典型的な症状で診断が難しい疾患、身体のみならず精神・心理・社会背景が複雑に絡み合っている病態など、様々な患者さんが訪れます。原因不明の病態で困っておられる患者さんは、ぜひ当科を受診してください。



# 理学療法士のご紹介

リハビリテーション部 理学療法士 永谷 二元基

最近ではリハビリテーションという言葉は広く知られるようになりましたが、一方で、リハビリテーションの専門職である理学療法士、作業療法士、言語聴覚士については、まだまだよく知られていないのが現状です。今回は理学療法士についてご紹介します。

理学療法とは、病气やけが、加齢、障害などにより運動機能が低下した状態にある方に対して、運動機能の維持・改善を目的に、運動や電気、温熱などの物理的手段を使用して行う治療法です。また、運動機能が向上することで、起き上がる・トイレに行く・歩く・外出するなどの



リハビリテーション部 運動療法室

基本的な生活動作の改善を図り、最終的には生活の質（QOL）の維持・向上を目指しています。QOLには、「身体的、精神的、社会的活動を含めた総合的な活力」、「生きがい」、「満足度」などの意味が含まれます。患者さんは病気による症状や治療の副作用などにより、治療前と同じような生活が難しくなることがあります。その中で、理学療法では、患者さんがいかに自分らしく納得のいく生活をするか、という点に着目し、それらを実現するために必要な身体機能の獲得のサポートや環境調整（歩行補助具の選定や自宅での過ごし方の工夫など）についての助言を行っています。

名大病院では、現在31名の理学療法士が在籍しています。特定機能病院として、緊急または重症な患者さんを対象とした急性期医療の充実に向けて、主に入院中の方を対象に周術期（入院～手術後の期間）の回復のサポートをし、早期に社会復帰が果たせられるよう努めています。対象は赤ちゃんから高齢者まで幅広く、関わる診療科も多岐にわたっています。また、当院が地域がん診療連携拠点病院であることから、がん患者さんへのリハビリテーションにも積極的に介入しています。また我々は、患者さんに直接関わる業務だけでなく、専門的な視点から他職種にむけて情報提供を行うなど、患者さんが入院中や退院後も、より安全かつ快適に生活できるよう日々努めています。



リハビリテーション科・部スタッフ  
(リハビリテーション科医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)

## 新任のご挨拶

卒後臨床研修・キャリア形成支援センター長／教授 錦織 宏

この度、平成31年4月1日付で卒後臨床研修・キャリア形成支援センター長及び医学部附属総合医学教育センターのセンター長・教授を拝命いたしました。両センターはサービス部門の機能として、それぞれ、名大病院の卒後臨床研修及び名大医学部の卒前医学教育に関する実務を病院及び医学部の事務と協働する形で担当しています。名大病院において、医療の質に直結する医師及



## 退職のご挨拶

呼吸器内科長／教授 長谷川 好規

1983年大学院生として帰局し、2年半の米国生活をのぞき、約34年にわたり名古屋大学病院で勤務させていただきました。あらためてお世話になった皆さまに、心より感謝と御礼を申し上げます。名大病院では、前脳神経外科吉田教授とともに治験センターの立ち上げや、前心臓外科上田教授とともに医療安全管理室の立ち上げに関わりました。また、教授就任直後に感染対策委員長となり、2009年の新型インフルエンザを乗り切ったことなど、多くの経験と勉強をさせていただきました。いずれも今から振り返ると楽しい思い出となっています。呼吸器内科は今後ますます需要が高まる領域です。今後とも呼吸器内科への皆さんの変わらぬご支援を宜しく、お願いいたします。



## Nagoya Disease Information Center ナディック通信



### がん患者の外見ケアについて

がんによる外見の変化とは、化学療法による脱毛や皮膚・爪の異常、手術による身体の変形などがあります。自分の身体に対するイメージが変化することで、人との関わりが苦痛になったり、自尊心が傷ついたり、仕事に影響が及んだりします。

外見ケアとは、変化した部分をカモフラージュするとともに、外見が変化することで生じる苦痛を軽減し、その人らしい生活が送れるようにサポートすることです。

広場ナディックでは、脱毛に対する外見ケアのサポートとしてウィッグを展示しています（販売はしていません）。がん相談員がご相談をお受けいたします。また、ウィッグメーカーによる頭皮ケア相談会も開催しています。（火曜日11：00～13：00に開催。第5火曜日を除く）





特集 TOPICS ③

# カラダと毎日のごはん♪

## ～名大病院の食事とメニュー紹介～

当院の栄養管理部では、「安全で満足度の高い食事サービス、治療に貢献する栄養管理」を理念に、患者さんの栄養食指導や入院患者さんへの給食の提供などを行っています。このシリーズでは、患者さんの疾患に合わせた当院の食事のポイントや、おすすめメニューについてご紹介します。



シリーズ 3

### 慢性腎臓病(CKD)患者さんのごはん

慢性腎臓病(CKD)の食事療法は、①塩分制限、②たんぱく質制限、③適正なエネルギー量の摂取が基本となります。腎臓には、身体に余分な塩分やたんぱく質の代謝で作られる老廃物を尿中へ排泄する働きがあります。そこで、腎臓に過剰な負担をかけないように食事療法で食塩やたんぱく質を制限し、CKDの進行を抑制します。また、エネルギー量が不足している状態では、栄養状態が悪くなるばかりか、身体のだんぱく質がエネルギーとして使われて、腎臓に有害な老廃物が増えるため、炭水化物や脂質でエネルギー量を確保します。当院の腎臓病食は、たんぱく質30g・1400kcal～たんぱく質70g・2200kcal(下図参照)を用意しています。CKD治療ガイドライン2018では、食塩は1日3g以上～6g未満にすることを推奨しているため、当院の腎臓病食も塩分量が1日6g未満となるよう調整をしています。また、治療上塩分量の変更が必要な場合は個別対応が可能で、カリウム制限の必要時は低カリウム食にも対応しています。

当院の腎臓病食

エネルギー	たんぱく質				
	1400kcal	1600kcal	1800kcal	2000kcal	2200kcal
30g	○	○	○	×	×
40g	○	○	○	○	○
50g	×	×	○	○	○
60g	×	×	○	○	○
70g	×	×	○	○	○

○は当院で用意している食種

### 名大病院腎臓病食のメニュー紹介

#### 鶏肉の梅おろしのせ



梅雨が近づいてきましたが、湿気や暑さで食欲が低下している方も多いのではないのでしょうか。今回紹介するメニューは鶏肉の梅おろしのせです。梅肉や大根おろしは口当たりが良く、ねぎや花かつおなど風味のある食材を使用することで、薄味でもおいしく食べることができる当院人気の一品です。

分量(1人分 167kcal)

- 鶏もも肉…………… 50g
- 片栗粉…………… 2g(小さじ2/3)
- なたね油…………… 5g(小さじ1)
- 大根…………… 50g
- 梅肉…………… 3g
- 葉ねぎ…………… 3g
- 花かつお…………… 0.1g
- 白しょうゆ…………… 1g(小さじ1/6)

※栄養量: エネルギー量167kcal、蛋白質8.7g、脂質12.2g、炭水化物4.4g、食塩相当量0.9g(たんぱく質50g・1800kcalの場合)

作り方

- (1) 鶏もも肉50gに片栗粉をまぶし、なたね油で揚げる。
- (2) 大根をおろす。
- (3) おろした大根と梅肉、葉ねぎ、白しょうゆを混ぜる。
- (4) 揚げた鶏もも肉の上に(3)のをせ、花かつおをふる。

### 病院からのお知らせ

## 提案書からの改善報告

本院では、患者さんへのサービス・アメニティー等の満足度向上を目指し、患者満足度委員会において、院内に設置してある提案箱へ投函いただいたご意見から、サービス改善策を検討し実施しています。

提案箱では、現在1ヶ月あたり約100件のご提案をいただいております。提案書を回収次第、患者さんのご意見の速やかな検討を現場で図るとともに、その後委員会にて、いただいた提案書を一件一件検討することで、サービス向上に努めています。

サービス改善における主な内容については、外来棟1階中央待合ホールに設置されているモニターへの掲示により、患者さんへの回答を行っています。

患者さんが利用する設備や機器などは、日々における点検や更新を実施しておりますが、平成30年度下半期では、以下の改善を実施しました。

#### 〈院内における主な設備面の改善〉

- 1) 正面玄関にある、ベビーカーを7台更新。
- 2) 中央診療棟B棟の1階から4階のエレベーター横および中央診療棟A棟4階の血液浄化部に提案書の記帳台および提案箱を新設。
- 3) 外来棟1階に鶴舞駅高架下薬局専用の業務用FAXを1台導入。他FAXにおいては順次入れ替えていく予定。
- 4) 電話通訳(15ヶ国語対応)の導入。
- 5) 各階病棟フロア談話コーナーのTVをBS視聴可能に変更。



新たに導入した鶴舞駅高架下薬局専用の業務用FAX

### ミニニュース

「コンサート」を開催しました

中央診療棟A 2階ピアノ広場に於て、3月13日に「名古屋大学医学部室内合奏団」の方々によるスプリングコンサートを開催しました。

クラシックから映画の主題曲まで、一度は誰もが聴いたことのあるような曲を演奏していただき、楽しいひとときを過ごしました。



### 禁煙のお願い

患者さんの健康をサポートすべき医療施設として、病院敷地内の全面禁煙を実施しています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

### 特定基金 医学部附属病院支援事業へのご協力のお願い

当院では本事業を通じて、診療環境の充実、患者さんへのサービスのさらなる向上、先進的な臨床研究の推進を進めてまいります。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳細は、ホームページまたは外来棟各階に置かれているパンフレットをご覧ください。

URL: <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kikin/hosp-kikin/>

QRコードでもアクセスできます!





# 藤井看護部長就任ご挨拶 高度先端医療に応える専門性と 愛(やさ)しく、温かな心の両面から

**患者さん中心の看護を大切に**  
看護部では、「診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。」という当院の理念を、看護を通じて実践し、それを全うできる看護師の養成に力を入れています。同時に、看護部独自に「愛(やさ)しく、温かく、安全な看護の実践を目指します。」という理念を掲げ、患者さん中心の看護を何よりも大切にしています。高度先端医療が求められる病院だからこそ、それに応えるだけでなく、患者さんに優しく温かく寄り添いながら安全な看護を提供することが重要です。患者さんの生活を考え援助することや、さまざまな医療の選択肢がある中で、患者さんやご家族の考えをくみとり、どんな医療を受けるかをご自身で選択できるよ

うに援助することも、看護師の役割だと思っています。  
看護部では、「診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。」という当院の理念を、看護を通じて実践し、それを全うできる看護師の養成に力を入れています。同時に、看護部独自に「愛(やさ)しく、温かく、安全な看護の実践を目指します。」という理念を掲げ、患者さん中心の看護を何よりも大切にしています。高度先端医療が求められる病院だからこそ、それに応えるだけでなく、患者さんに優しく温かく寄り添いながら安全な看護を提供することが重要です。患者さんの生活を考え援助することや、さまざまな医療の選択肢がある中で、患者さんやご家族の考えをくみとり、どんな医療を受けるかをご自身で選択できるよ

うに援助することも、看護師の役割だと思っています。  
看護部では、「診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。」という当院の理念を、看護を通じて実践し、それを全うできる看護師の養成に力を入れています。同時に、看護部独自に「愛(やさ)しく、温かく、安全な看護の実践を目指します。」という理念を掲げ、患者さん中心の看護を何よりも大切にしています。高度先端医療が求められる病院だからこそ、それに応えるだけでなく、患者さんに優しく温かく寄り添いながら安全な看護を提供することが重要です。患者さんの生活を考え援助することや、さまざまな医療の選択肢がある中で、患者さんやご家族の考えをくみとり、どんな医療を受けるかをご自身で選択できるよ

## あなたの乳がん治療、チームで支えます

乳腺・内分泌外科 病院講師 角田 伸行

乳がんの治療では、複数の治療法の中から患者さん自身が選択を求められる場面が多くあります。代表例は手術術式の部分切除(いわゆる乳房温存手術)か全摘かの選択です。この選択は乳房内のがんの性質、位置、分布範囲等を各種検査で評価した医師の判断・情報に基づきますが、部分切除可能と判断された場合は、部分切除か全摘かの二者択一を迫られます。また部分切除が困難な場合には、①全摘 ②全摘に乳房再建を付加する ③術前抗がん剤治療でしこりを小さくしてからもう一度、部分切除可能かを判断する などの選択を求められることになります。

私たちが提示する選択肢はいわゆる標準治療と呼ばれる方法で、複数の臨床試験を経て確立されてきた、現時点での最善の治療と言えます。患者さんは、同等の治療成績(乳がんの根治性)が得られる複数の治療法の中から、自分自身の価値観に合った方法を選択することになります。

このような選択を外来診察の限られた時間内の説明だけで決めるのは、当然ながら大変な作業です。当科外来では医師に加え、乳がん認定看護師を初めとする多職種チームで、患者さんのより良い治療選択、より自分らしい意思決定をサポートしています。

## ボランティアさん募集

当院ではボランティアさんを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

★ ボランティアホームページ  
<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/recruit/volunteer/>  
『名大病院 ボランティア』で検索♪

**環境や教育制度で看護師を支援**  
一方で、患者さんに質の高い看護を持続的に提供するには、それが可能になる仕組みをつくることも必要です。それは看護師一人ひとりを大切にするところから始まります。働きやすく、やりがいのある職場づくりを目指して、働き方改革を看護部と病院で取り組むだけでなく、企業と連携し取り組んでいます。また、スマートホスピタル構想の一環として、看護師が手指消毒を行うとそのデータが自動的に記録される仕組みを一部の病棟で導入し、業務の効率化と安全性向上にIoTを活用する試みも始まりました。

**国際基準の看護を見える化し、地域とともに発展するために**  
2月には、国立大学病院では初めて国際的な医療施設評価認証機関であるJCIの認証を取得しました。「医療の質」と「患者安全」が国際的な基準で評価されたことは大きく、当院ならではの多職種連携の強みが発揮できたのではないかと考えています。今後も常に課題を見つけ、改善できる体制を整えていきたいと思っています。

**国際基準の看護を見える化し、地域とともに発展するために**  
2月には、国立大学病院では初めて国際的な医療施設評価認証機関であるJCIの認証を取得しました。「医療の質」と「患者安全」が国際的な基準で評価されたことは大きく、当院ならではの多職種連携の強みが発揮できたのではないかと考えています。今後も常に課題を見つけ、改善できる体制を整えていきたいと思っています。

**名大病院の高度な総合医療を質の高い看護で支える、看護部。**  
今年度、新たに就任した藤井晃子看護部長に、看護部の特長や現在の取り組み、今後の展望などを伺いました。

**名大病院の高度な総合医療を質の高い看護で支える、看護部。**  
今年度、新たに就任した藤井晃子看護部長に、看護部の特長や現在の取り組み、今後の展望などを伺いました。



※看護師の特定行為  
診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力および判断力並びに高度かつ専門的な知識および技能が特に必要とされる行為のこと。

**国際基準の看護を見える化し、地域とともに発展するために**  
2月には、国立大学病院では初めて国際的な医療施設評価認証機関であるJCIの認証を取得しました。「医療の質」と「患者安全」が国際的な基準で評価されたことは大きく、当院ならではの多職種連携の強みが発揮できたのではないかと考えています。今後も常に課題を見つけ、改善できる体制を整えていきたいと思っています。

まだ肌寒さの残る2019年3月10日の日曜日、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知が開催されました。大会の中心である名古屋ウイメンズマラソンは2万人超が参加する、世界最大級の女子マラソンです。毎年、名大病院はこの大会へ医療サポートチームを派遣しています。

この数年間は、スタート・ゴール地点である名古屋市東区の名ゴヤドーム付近を担当しています。医師、看護師、薬剤師や放射線技師、事務の混成チームで、急に調子が悪くなった方の救護に当たり、特に心肺停止などの重大な事態が起きた場合には救命チームとして活動します。

参加者はもちろんお元気な方が多いですが、過去のデータに基づくと、1万人がフルマラソンをすると、一人程度、心肺停止の方が発生してしまいます。実はマラソンフェスティバルにおいても、1大会で3人の心肺停止患者が発生したこともあり、現場では大会本部と無線通信を行いながら、「万が一」に備えます。幸い今回は名大病院チームが緊急で呼び出されることはありませんでした。救命チームが活動しなくて済むに越したことはありませんが、万が一の場合にもせっかくなの楽しい大会が悲しみに変わらぬよう、これからも皆さんの役に立ちたいと思っています。

**マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知における医療ボランティア活動について**

救急科外来医長 山本 尚範

